

製品名: GABAA R β 1 (リン酸 Ser434) ウサギ ポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04721**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	GABRB1
別名	GABRB1; Gamma-aminobutyric acid receptor subunit beta-1; GABA(A) receptor subunit beta-1
遺伝子 ID	2560.0
SwissProt ID	P18505
免疫原	抗血清は、Ser434 のリン酸化部位周辺のヒト GABA-RB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

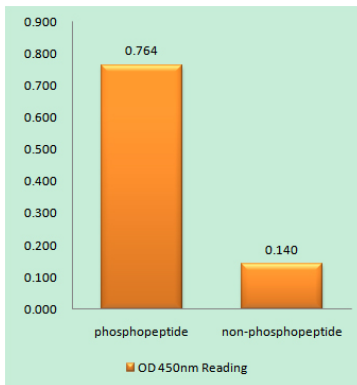
背景

γ-アミノ酪酸 (GABA) A 受容体は、中枢神経系において最も速い抑制性シナプス伝達を媒介する多サブユニット塩素イオンチャンネルです。この遺伝子は GABA A 受容体の β1 サブユニットをコードしています。この遺伝子は、GABA A 受容体の α4、α2、γ1 サブユニットをコードする遺伝子群からなるクラスター内の染色体 4p12 にマッピングされています。この遺伝子の変異は、統合失調症の病態に関与していると考えられています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 脊椎動物の脳における主要な抑制性神経伝達物質である GABA は、GABA/ベンゾジアゼピン受容体に結合し、必須塩素チャンネルを開くことで神経抑制を媒介する。 ,オンライン情報: Forbidden fruit - 2005 年 3 月号 第 56 号,類似性: リガンド依存性イオンチャンネル (TC 1.A.9) ファミリーに属する。 ,サブユニット: UBQLN1 に結合する (類似性による)。通常は 5 量体である。GABA(A)受容体鎖には、α、β、γ、δ、ρ の 5 種類がある。 ,

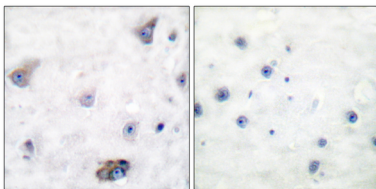
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

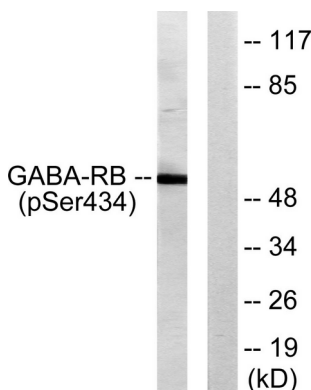
画像データ



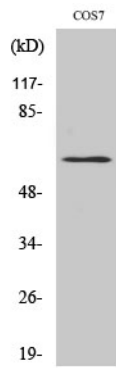
GABA-RB (リン酸化 Ser434) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



GABA-RB (リン酸化 Ser434) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



GABA-RB (リン酸化 Ser434) 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンにはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 GABAA R β 1 (S434) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析